

# 第30回 日本保健医療行動科学会 学術大会

つ・な・ぐ  
＜連携＞

## 来るべき時代における 医療共同体のあり方



会 期 平成27年6月20日(土)・21日(日)  
会 場 京都看護大学  
大会長 豊田 久美子 (京都看護大学)  
事務局 京都看護大学看護学部内  
E-mail c\_kangonochi@kyotokango.ac.jp  
大会HP URL <http://jahbs.info/taikai30.html>

# 第 30 回日本保健医療行動科学会学術大会

## ご挨拶

団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年を迎えようとする今日、社会・保健・医療を取り巻く環境が大きく変化しようとしています。段階的に医療改革が進められるなか、地域包括ケアシステムの構築などが急ピッチで進展しており、保健医療のあり方もまた変化せざるを得ません。その変化は、従来の専門職がリードする保健医療のあり方ではなく、医療者・患者及び家族・当事者・市民が更なる連携を進めるというものではないかと考えます。

30 回となる節目の学会において、その連携の方法とは何か、そのために必要なものは何か、また問題点は何かということに参加者の皆様とともに討議し、これからの保健医療のあり方を展望したいと思います。

大会長 豊田 久美子(京都看護大学)

## プログラム概要

### 1 日目: 6 月 20 日(土)

9:30 基調講演「つなぐ・つなげる・つながる ―過去から未来へ―

豊田 久美子 (京都看護大学)

10:30 一般演題(口頭発表)

14:00 特別講演「近年の医学教育の動向と保健医療行動科学」

藤崎 和彦 (岐阜大学医学教育研究開発センター)

15:30 体験学習ワークショップ

1. 体験してみよう、多職種連携! ―ほんまもんの多職種連携って、何?―

三橋 尚志 (京都大原記念病院)

2. よい眠りはサーカディアンリズムの調整から ―正しい光利用で不眠・せん妄予防―

田口 豊恵 (京都看護大学)

3. 化粧が持つ魔法

肥田野 尚子 (長瀬産業)

4. 臨床ナラティブ

中川 晶 (奈良学園大学)

18:00 懇親会

### 2 日目: 6 月 21 日(日)

9:00 一般演題(口頭発表)

11:10 一般演題(ポスター発表)

13:30 シンポジウム

「<連携> 来るべき時代における医療共同体のあり方」

シンポジスト 丹生 裕子 (県立柏原病院の小児科を守る会)

小松 邦志 (こひつじクリニック)

飛田 伊都子 (滋慶医療科学大学院大学)

15:30 閉会

### 【参加費】

事前申込: 会員 5,000 円、非会員 6,000 円、大学院生 4,000 円、学部学生 3,000 円、非会員 1 日コース 3,000 円

\* 当日参加はいずれも 1,000 円増

### 【懇親会費】

会員・非会員 5,000 円

認定看護師更新審査の対象学会です。

(学術大会 2 日目閉会后、谷口先生・谷先生・柳井先生を偲ぶ会を開催します。)

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町 1-21

### 【アクセス】

➤ 電車: JR 丹波口駅下車、徒歩 13 分

阪急西院駅下車、徒歩 9 分

➤ バス: 市立病院前下車、徒歩 4 分

西大路松原下車、徒歩 3 分

来場には公共交通機関をご利用いただきますよう

お願いいたします。

